

報道各位

新潟市潟東樋口記念美術館
新潟市潟東歴史民俗資料館

企画展 「尾竹三兄弟と教科書展」の開催について

新潟市出身の尾竹三兄弟（越堂・竹坡・國観）の挿絵が入った教科書をはじめ、古くは江戸時代の寺子屋や私塾の教科書、明治時代以降の学校教育で使われてきた教科書など多くを展示しています。

本展によって、尾竹三兄弟の国定教科書に遺した足取り、教科書の歴史の流れ、今日まで続く教科書問題、平和教育の問題、ジェンダー教育の問題、科学的考古学の重要性、明治時代の私塾の果たした役割などを考える契機になれば幸いです。

多くの方からご覧いただきたく、広報活動にご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

1. 日 時

開催期間： 令和7年9月17日（水）～12月21日（日）

開館時間： 9:00～16:00

休 館 日： 10/6.14.20.27、11/4.10.17.25、12/1.8.15

2. 会 場 ： 潟東樋口記念美術館・潟東歴史民俗資料館 新潟市西蒲区三方 92 番地

3. 観 覧 料：一般 650 円 小中学生 390 円 ※土日祝日は小中学生無料

4. 内 容 ： 別添のチラシ参照

5. 問い合わせ：新潟市潟東樋口記念美術館

担当：学芸員 橋本 電話：0256-86-3444

新潟市潟東地区公民館

担当 村越・佐久間 電話：0256-86-3077

令和7年度企画展

尾竹三兄弟と教科書展



尾竹國観〈教科書挿絵：蘇我入鹿の暗殺〉

尋常小学校国語『新編帝國讀本』明治34年 集英堂刊より



尾竹竹坡〈教科書挿絵：壇ノ浦の戦い〉

尋常小学校国語『新編帝國讀本』明治34年 集英堂刊より



尾竹越堂〈教科書挿絵：下関講和会議〉

尋常小学校国語『新編帝國讀本』明治34年 集英堂刊より



2025年9月17日（水）～12月21日（日）

◆ 9月27日（土）

- ・ギャラリートーク 16:00～17:00 ※当日先着20名程度（申込不要）
- ・ナイトミュージアム 19:00まで開館 絵とろう展示

◆開館時間／9:00～16:00

◆休館日／毎週月曜日（祝日の場合はその翌日休館）、祝日の翌日

◆入館料／一般 650円、小中学生 390円

[団体（20名以上）一般 520円、小中学生 260円]

※小中学生は土・日・祝日 無料

◆主催／西蒲区文化施設を運営する市民の会、新潟市



新潟市 潟東樋口記念美術館・潟東歴史民俗資料館

〒959-0505 新潟市西蒲区三方 92 TEL.0256-86-3444



交通／JR新潟駅より 新潟交通バス：大野・ふるさと村経由
潟東営業所行、潟東営業所よりタクシー5分
JR越後曾根駅よりタクシー15分



尾竹竹坡〈教科書挿絵：「北白川宮能久親王」〉
『高等小学校修身書』明治43年 日本書籍刊より



尾竹國観〈教科書挿絵：「誠實」〉
『高等小学校修身書』明治43年 日本書籍刊より

新潟市出身の画家三兄弟、尾竹越堂（1868-1931）・竹坡（1878-1936）・國観（1880-1945）の挿絵の入った教科書をふくめ、学校教育で使われてきた様々な時代の教科書を展示します。教科書の有り様を通して、その背景にある時代相の移り変わりをご覧ください。



以下の展示もあわせてご覧いただけます。

◆戦没画家・金子孝信作品の常設展示
(樋口記念美術館 1 階)



◆考古・歴史・民俗資料の常設展示
(歴史民俗資料館 2 階)



『尾竹三兄弟と教科書展』開催にあたって

此度は当地とゆかりのある尾竹三兄弟が描いた明治 34 年前後の国定教科書の挿絵と、同時代の挿絵画家の教科書挿絵とを比較して展示することにする。三兄弟のうち長男の越堂は、明治 40 年からの「越堂」を名乗る以前に「國一」の名で竹坡、國観と共に国定教科書で挿絵画家として活躍する。彼らは、新潟・富山時代から新聞、雑誌などで既に挿絵画家としての側面が知られていた。

木版の教科書挿絵に画家と彫師の名が記されたのは浮世絵からの伝統であるが、その後、彫師、画家の順で名前は消えていった。そこには印刷技術の進歩が影響を与えている。

「教科書の歴史」コーナーでは、教育の始まりから中世・近世の教育についてふれ、江戸時代の藩校・私塾・寺子屋の教科書、明治時代の翻訳教科書、揺り戻し期の和漢教科書、国定教科書、大正時代の女子教育教科書、昭和戦前・戦中・戦後直後の教科書の変化、国際問題にも発展した歴史教科書問題、日本列島の前・中期旧石器時代遺跡捏造事件発覚前後の日本史教科書、ゆとり教育や捏造事件のあおりをうけた小中学校教科書からの旧石器・縄文時代の抹消、琉球・アイヌの歴史・文化へのまなざしなどを扱った。

江戸時代から明治時代の私塾資料に関しては、上越市安塚区の藤原鬼一郎が遺したものが異彩を放っている。就学困難地域の地域住民のために明治の学制発布後も個人で塾を開設し、多くの門弟を育てた。展示では、各教科の教科書に私塾関係資料を添えた。また、門弟たちの寄付で建てられた楠本正隆揮毫の筆塚の墓碑関連資料も展示した。

本展によって、尾竹三兄弟の国定教科書に遺した足取り、教科書の歴史の流れ、今日まで続く教科書問題、平和教育の問題、ジェンダー教育の問題、科学的考古学的重要性、明治時代の私塾の果たした役割などを考える契機となれば幸いである。

本展開催にあたっては、藤原英一氏、藤原英次氏、古川原誠氏、巻郷土資料館、潟東文化振興会の各氏にご協力を賜った。記して謝意を表する。

2025 年 9 月 17 日

新潟市潟東樋口記念美術館・歴史民俗資料館

学芸員 橋本 博文

湯東樋口記念美術館・湯東歴史民俗資料館
【尾竹三兄弟と教科書展】 展示風景



観覧者には尾竹三兄弟が描いた挿し絵の「ぬり絵」も楽しんでいただけます。